教科	音楽	学年	第1学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
想いを込めて楽しく歌おう 「校歌」 「旅立ちの日に」 「翼をください」 「変わらないもの」	2	・新しい仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽学習への意欲、態度を育てる。 【歌唱】 【道徳との関連】 集団生活の向上	○声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 ○音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。	○歌唱表現に関わる知識（声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり）や技能（音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など）を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。
曲の形式を捉えながら鑑賞しよう 「春」第一楽章	3	・曲の形式を捉えながら鑑賞する。 【鑑賞】	「春」の曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。	「春」の音色、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したこと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「春」のよさや美しさを味わって聴く。	「春」の曲想と音楽の構造やソネットの関わり、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏の音色や響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に学習に取り組む。
拍子を守ってリズムの創作をしよう	3	・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の組み合わせなどの技能を身に付ける。 【創作】	・創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の組み合わせなどの技能を身に付ける。	リズム・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。	課題や条件に沿った音を選択し組み合わせることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に学習に取り組む。
曲の形式を生かして歌おう 「夏の贈り物」 「夏の思い出」 「赤とんぼ」	5	・曲の形式を生かして歌おう 【歌唱】	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	リズム・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に歌唱の学習に取り組む。
曲想の変化を生かして歌おう 三部合唱2曲	10	・曲想の変化を生かして歌おう 【歌唱】 【道徳との関連】	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	速度・旋律・強弱・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に歌唱の学習に取り組む。
曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう 「魔王」	3	曲の変化を感じ取って鑑賞する。 【鑑賞】	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。	・音色、旋律、テクスチュア、音域を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「魔王」のよさや美しさを味わって聴く。	「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりや独唱の表現の豊かさに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習に取り組む。
箏の基本的な奏法を身に付けよう 「さくらさくら」	5	・箏の基本的な奏法を身に付けよう。 【器楽】	・箏の音色と奏法との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。	・音色・リズム・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。	・箏の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に器楽の学習に取り組む。
パートの役割を生かして合わせて歌おう 「はばたこう明日へ」 「変わらないもの」	9	・曲想の変化を生かして歌おう 【歌唱】 【道徳との関連】	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	速度・旋律・強弱・テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に歌唱の学習に取り組む。
楽器の特徴を捉えて鑑賞しよう 「探検・発見・オーケストラのヒミツ」	2	・楽器の特徴を捉えて鑑賞しよう 【鑑賞】	・楽器の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。	・音色を知覚し、その特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考える。	・楽器の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に鑑賞の学習に取り組む。
生活習慣と音楽 「音楽史」	3	・他国の多様で様々な表現を鑑賞しよう。 【鑑賞】	・時代の流れとともに変化する音楽の役割や様式等、その特徴から音楽の多様性について理解する。	・様々な表現の音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴く。	・様々な表現の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協同的に鑑賞の学習に取り組む。